



人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学

不二製油

継続的な DHA 297 mg の摂取が加齢に伴う認知機能の低下を抑制することを確認
—2020 年 9 月 11 日 Journal of Functional Foods に論文掲載—

国立大学法人島根大学(学長：服部 泰直)と不二製油グループ本社株式会社(代表取締役社長：清水 洋史)および不二製油株式会社(代表取締役社長：大森 達司)は、Journal of Functional Foods に以下の内容を論文掲載いたしました。この研究にあたり、1 日 297 mg の DHA を含む乳飲料摂取が加齢に伴う認知機能の低下を抑制することを確認しました。DHA 摂取が認知機能に与える影響を検討した研究は多数あり、その多くで、DHA の劣化抑制効果が高いカプセルが用いられています。カプセルでは DHA の吸収性の低さに起因し、1 日あたり非常に多量の DHA を摂取する必要がありました。本研究では不二製油株式会社が開発した酸化劣化しにくい安定化 DHA 油脂(プロレア®)を乳飲料に使用し、乳化物の形態で DHA を摂取することで、従来よりも低含量、具体的には 1 日あたり 297 mg の DHA で加齢に伴う認知機能の低下を抑制することを確認しました。

本研究成果は 2020 年 9 月 11 日に Journal of Functional Foods に掲載されました。
掲載先 URL <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1756464620304199>

論文タイトル

Beneficial effects of docosahexaenoic acid-enriched milk beverage intake on cognitive function in healthy elderly Japanese: A 12-month randomized, double-blind, placebo-controlled trial

(日本人高齢者における DHA 強化乳飲料摂取による認知機能への有益な影響：12 ヶ月間の無作為化二重盲検プラセボ対照試験)

筆頭著者

市瀬 高志(不二製油グループ本社株式会社)

研究責任者

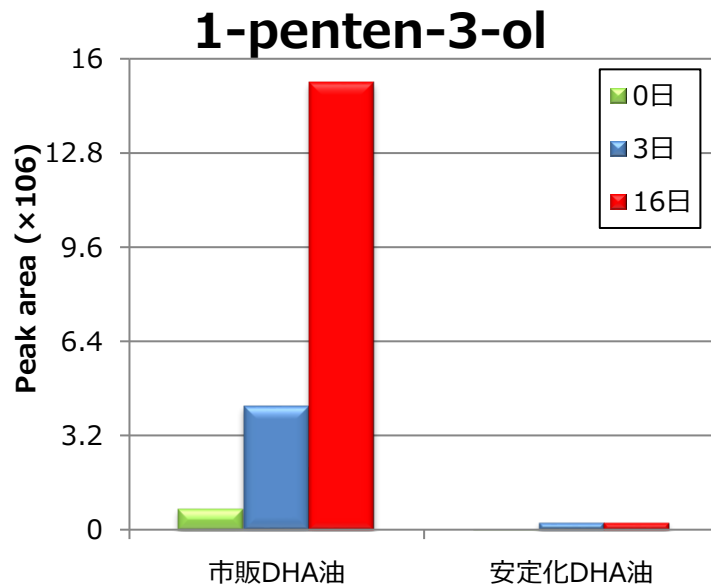
橋本 道男(国立大学法人島根大学 医学部 環境生理学講座 特任教授)

DHA

魚介類に多く含まれているDHAは、必須脂肪酸の1つです。認知度が高く、最も健康優位性が明確な栄養素とされ、様々な国や団体から日常的な摂取が推奨されています。しかし日本では、食の変化に伴い 多くの世代でDHAの摂取不足が深刻化しています。



プロレア®



弊社では、油脂に難溶性の抗酸化物に着目し、従来難しかったレベルの酸化安定性を DHA 油にもたせることが可能になり、DHA の食品への利用が可能となりました。危害物質の少なさやサステナビリティの側面から、“培養生産される藻類 DHA 油”を DHA の原料に選んでいます。

【本件の連絡先】

島根大学医学部総務課企画調査係 今若
電話：0853-20-2019 Fax：0853-20-2025
Mail：mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

【添付資料： あり（ 枚） なし】